

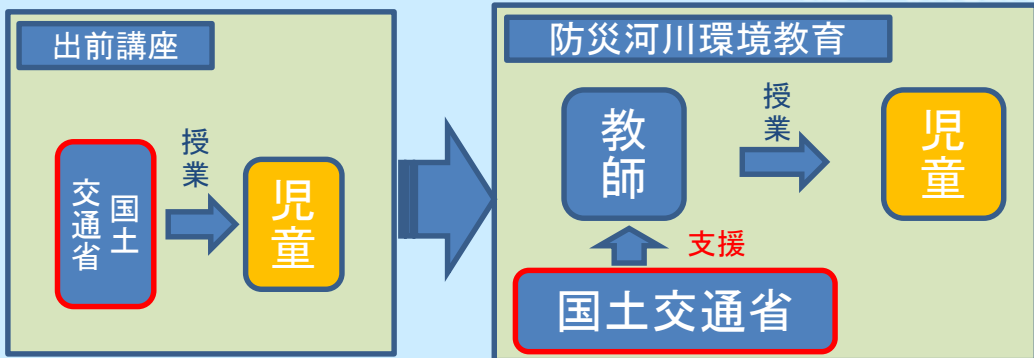
「教育現場における防災学習を支援」～防災教育支援の取り組み～

1. 経緯／概要

- 最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会では、教育機関等と連携し最上川の水害を伝承するとともに、地域防災力の核となる人材を育成していくことを目的に、水防災に関する知識の普及に取り組んでいます。
- 平成30年2月に「防災教育検討会」を設立し、山形市立大郷小学校を支援校として防災教育に取り組み、計2回の公開授業（社会1回、理科1回）、計3回の検討会を経て、平成31年3月に「水防災河川学習プログラム」が完成し、管内の小学校への配布に先駆けて山形市教育委員会との「配布式」を行いました。

これまで取り組んできた『出前講座』との違いは…

※『通常の授業』を支援



■これまでの取り組み経緯及び今後の予定

平成30年	2月	第1回防災教育検討会
平成30年	5月	第2回防災教育検討会
平成30年	7月	社会科 公開授業
平成30年	9月	理科 公開授業
平成30年	11月	第3回防災教育検討会
平成31年	2月	学習プログラム作成
平成31年	3月	学習プログラム完成
平成31年	4月	最上川上流（置賜・村山地区） 教育委員会・小学校へ配布 学習プログラムを山形河川国道事務所 HPに公開（資料はダウンロード可）

2. 公開授業・委員会・配布式の様子

公開授業・検討会を経て作成した「水防災河川学習プログラム」を各小学校等への配布に先駆け、山形河川国道事務所長より、山形市教育長へ「水防災河川学習プログラム」が配布されました。



【平成30年7月12日
公開授業（社会）】



【平成30年9月13日
公開授業（理科）】



【平成30年11月19日
第3回防災教育検討会】



【平成31年4月23日 配布式
山形河川国道事務所長より山形市
教育長へ学習プログラムを配布】